

**民主**  
PRESS MINSHU

号外 静岡3区版

2010年10月15日

民主党プレス民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

**明日の日本  
生活が第一**



～ 今こそ原点回帰！ ～

**衆議院議員**

民主党静岡県第3区総支

**小山のぶひろ**

氏に訊く

**菅内閣の経済対策——円高・デフレへの緊急対応**

現在、日本経済は、円高の急激な進行や海外経済の減速傾向、長年のデフレ状況等から、再び景気をめぐる環境が厳しさを増しています。これは、欧米での金融不安の再燃から欧米経済が減速したほか、アジアも欧米の影響を受けたため、日本の輸出が、欧米向けもアジア向けも鈍化傾向を示すようになってしまったからです。

このような経済状況への対策として、政府は、九月十日に「新成長戦略実現に向けた三段構えの経済対策」を策定・実施するとともに、十月八日に「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」を策定いたしました。「三段構え」の対策としたのは、今回限りの細切れの対策ではなく、平成二十三年度までのビジョンを持った効果的な経済対策を行っていくためです。また、今回の経済対策においては、失業率が高止まりしていることから「雇用・人材育成」に力を入れていること、環境・エネルギー等の次世代の成長分野や社会的ニーズのある子育て、介護、福祉等の分野に力点をおいていること、公共投資については耐震化や防災対策などを重視していることが特徴です。

第一段階の緊急的な対応においては、九一八二億円の予備費を使用し、家電エコポイント制度・住宅エコポイント制度の延長、病院の耐震化工事、ゲリラ豪雨対策や震災等の防災対策のほか、とりわけ失業率の高い新卒者を採

が決定しました。第二段階では、本年度の補正予算の編成により、雇用調整金の条件緩和、地域医療再生基金の拡充、介護や自殺対策への支援強化、地方自治体の住宅耐震化支援、学校・上下水道・グループホーム等の耐震化工事支援等を計画しております。第三段階は、平成二十三年度本予算による新成長戦略の本格実施により、デフレ脱却を図りつつ、自立的経済成長の実現を目指すこととしております。

今回の経済対策で、とりわけ「雇用」が強調されているのは、雇用の確保・拡大により、安定的な所得及び所得の向上が実現し、それが消費を刺激し、経済の活性化につながるの考えによるものです。失業率が高止まりしている現状において、また、海外経済が鈍化傾向を示している現状において、産業の成長は前提条件ではありませんが、雇用対策を重視することとは必要なことだと私も思います。また、公共投資についても、「工事をを行うこと自体が目的」の事業（それでも短期的に資金がまわり、全く効果がないわけではないのですが）ではなく、将来にわたって投資効果の上がる事業を行うこと、防災など社会的ニーズの高い事業を行っていくことが、必要ではないかと考えています。

衆議院議員

小山 展弘



号外 静岡3区版

2010年10月15日

民主党プレス民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

# 明日の日本 生活が第一



## 菅総理 所信表明演説

## 先送り一掃を宣言

衆参の本会議が1日開かれ、菅直人総理が所信表明しました。菅総理は『有言実行内閣』の出発。何を実行するのか」と切り出し、先送りされてきた重要政策課題の実行を強調、閉塞感に包まれた日本社会の現状打破へ、先送り一掃を宣言しました。

さらに、「経済成長」「財政健全化」「社会保障改革」の一体的実現、その前提としての「地域主権改革の推進」「主体的な外交の展開」の五つを課題として挙げ、つぎのように取り組むと説明しました。

「経済成長」では「供給者本位から消費者目線に転換することが必要」とし、加えて政府が先頭に立って雇用を増やすとしました。

「財政健全化」では、このままでは財政は持続できなくなるとして、「2015年度までに、基礎的財政収支の赤字を対GDP比で今年度の半分、2020年度までに黒字化を達成する。大変高い目標だが、成長と雇用拡大を実現しながら、一歩ずつ達成を目指す」としました。

「社会保障改革」では、「全体像について、必要とされるサービスの水準・内容を含め、国民にわかりやすい選択肢を提示する」としました。さらに、財源について、消費税を含め税制全体の議論を進めるとして、与野党での議論が不可欠だと述べました。

また、この国会で次世代への責任を果たすことができる、国会が具体的な政策を作り上げる「政策の国会」となることを期待、議論を深める「熟議の国会」にしていくよう努めると表明しました。

## 小山 のぶひろ

プロフィール

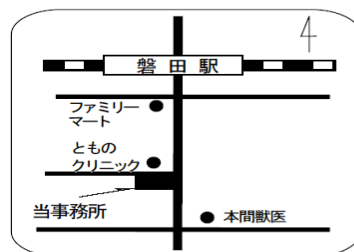
- 1975年 12月26日 掛川市(旧小笠郡 大須賀町)生まれ
- 1982年 大須賀町立横須賀幼稚園 卒業
- 1988年 磐田市立磐田西小学校 卒業
- 1991年 磐田市立第一中学校 卒業(水泳部所属)
- 1994年 静岡県立磐田南高等学校 卒業(弓道部所属)
- 1999年 早稲田大学 政治経済学部政治経済学科 卒業
- 2001年 早稲田大学大学院 政治学研修科修士課程 修了  
農林中央金庫(JAバンク) 入庫
- 2006年 農林中央金庫を退職し松下政経塾に入塾
- 2007年 民主党静岡県第3区総支部長就任(松下政経塾を自主退塾)
- 2009年 第45回衆議院議員選挙にて初当選  
衆議院議員(財務金融委員会・災害対策特別委員会)  
磐田市中泉(西新町) 在住



衆議院議員 小山のぶひろ

## 民主党静岡県第3区総支部事務所

438-0078 磐田市中泉(御殿) 656-1  
TEL 0538-39-1234  
FAX 0538-39-1235  
E-mail [n\\_koyama@aroma.ocn.ne.jp](mailto:n_koyama@aroma.ocn.ne.jp)



※駅南口より  
徒歩3分

お気軽にご連絡・ご来所ください(磐田駅南口より徒歩3分)。